

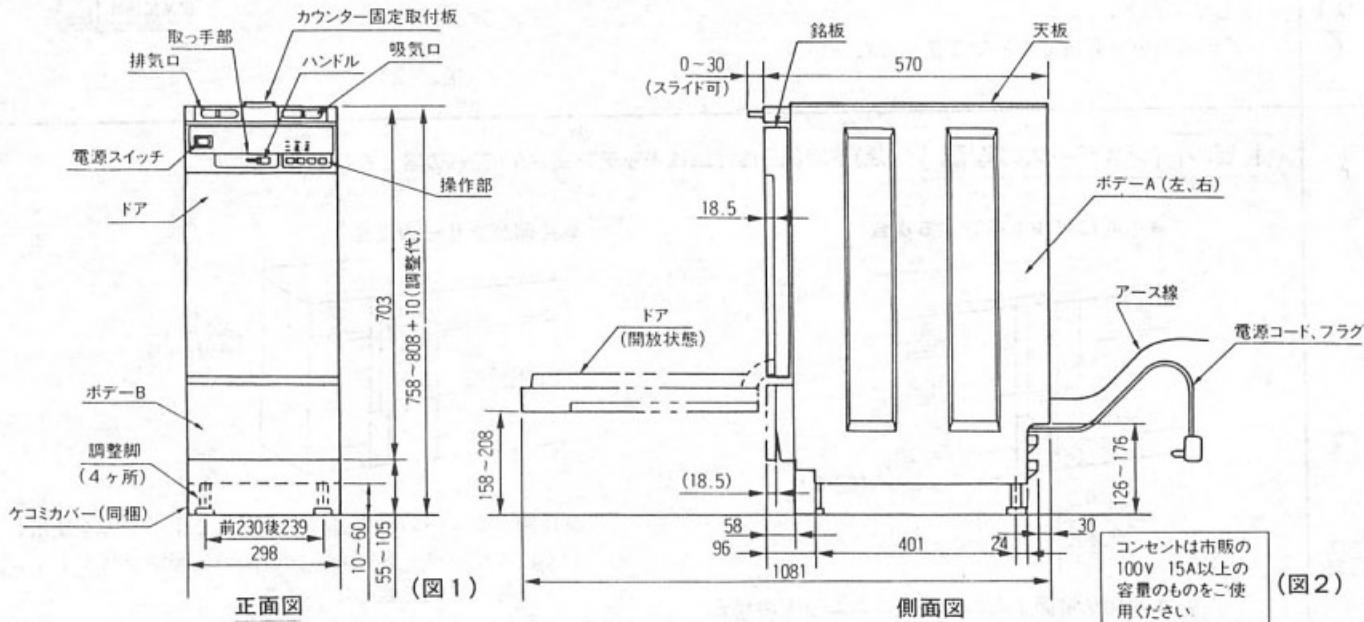
食器洗い乾燥機
NP-3000BW
NP-3000BP

据付工事説明書

工事をされる方へのお願い

- 設置工事終了後、**設置工事後の点検**のチェックリストにもとづいて必ず再確認を行ってください。
- この説明書は工事完了後、お客さまへお渡しください。
- 据付け工事に関してご不明な点がありましたら事業部にご相談ください。

1 名称及び寸法図(単位:mm)



2 付属品の確認

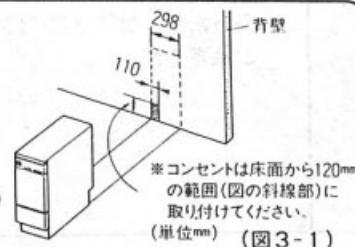
- 設置工事を始める前に、付属品の有無を確認してください。

付属品	ご使用時に必要な付属品	据付け工事に必要な付属品
	<ul style="list-style-type: none"> ●専用洗剤 計量スプーンつき (100g) ●乾燥仕上げ剤 (50mℓ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ホースバンド 各1個 ●排水ホース(60cm) ●ホーススリング ●脚調整ピン 各1個 ●ホースホルダー ●タッピングネジ 各1個 ●転倒防止金具(各1個) ●ボルト2本 ●タッピングネジ2本 ●ケコミカバー H:850mm用 H:800mm用 各1枚 ●面材取り付け金具 A2個 ●タッピングネジ B左右各1個 ●キャップ 12本

3 設置前のご注意

1. 電源の確認

- 工事は全て電気設備技術基準に準じて行ってください。
- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁で、給・排水管工事部分を避けた位置(図3-1)に埋込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
(コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋込みコンセントを設けてください。)
- 本体の電源(電圧、周波数)表示は銘板に示しています。(図2)



※配管工事は全て水道法、建築基準法、貴都市の条例・規定に準じて
行ってください。

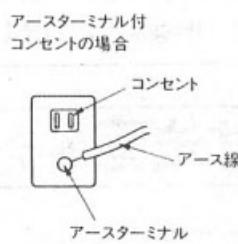
※製品の機能が十分発揮されるように、この据付工事説明書の内容に
そつて正しく取りつけてください。

松下電器産業株式会社 洗濯機事業部

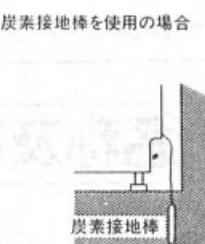
〒561 大阪府豊中市神州町1番2号
電話 (大阪06) 331-0051番 (大代表)

2. アースについて

- 炭素接地棒(別売: ANP3C-160)を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
(電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。)
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
(法令等で禁止されています。)
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
(アース工事は有料ですのでご了承ください。)



(図3-2)

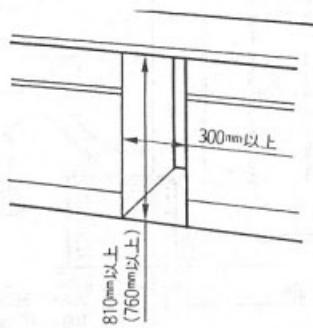


(図3-3)

3. 設置場所の確認

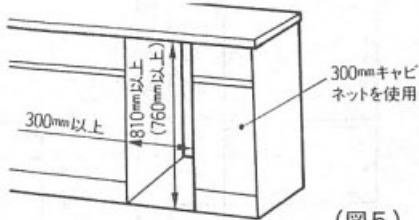
1. ビルトインスペースの確認 (注)下図()内寸法はキッチン高さが800mmの場合を示す。

● 中間にビルトインする場合



(図4)

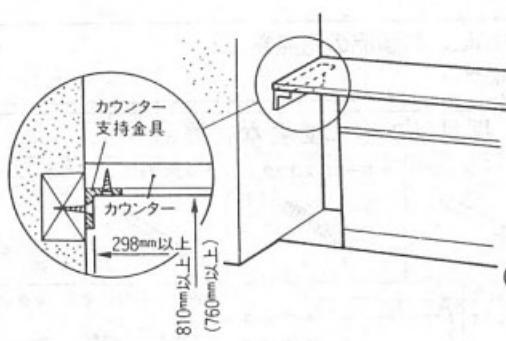
● 片側がフリーの場合



(図5)

※片側がフリーの場合、幅300mmキャビネット等を使用して、カウンターを支え、食器洗い乾燥機をビルトインする等の処置を施してください。

● 片側が壁面または、トールユニットの場合



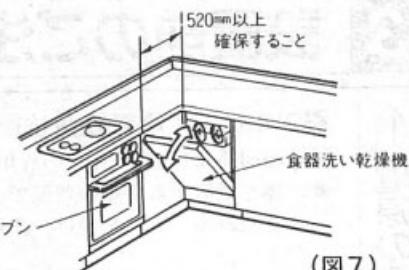
(図6)

※カウンター支持金具は別売補強部材(N-L2)又は市販のL金具をご使用ください。

※カウンター支持金具を固定する場合、図6に示す寸法を必ず確認してください。

ご注意

- ビルトイン型ガス機器等と並べて食器洗い乾燥機を設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、カウンターがたわむことがありますので、カウンターの補強処置を施してください。
- 流し台がL型配列の場合、食器洗い乾燥機をコーナー部に設置すると、オープン等によっては、食器洗い乾燥機のドアを開閉する際にオープン等の取手部に当ったり、故障修理の際に食器洗い乾燥機が引き出せない場合がありますのでご注意ください。

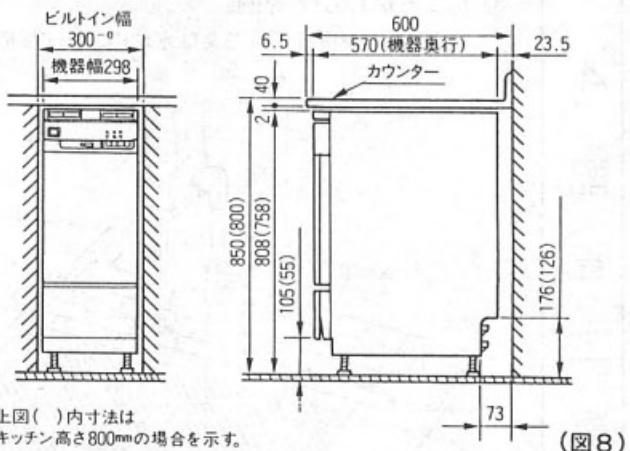


(図7)

3. 設置場所の確認

2. 工事の前に

■この工事説明は、右図のキッチン寸法を標準として算出しています。したがってキッチンの寸法が変わった場合は右図を参照して寸法調整をしてください。

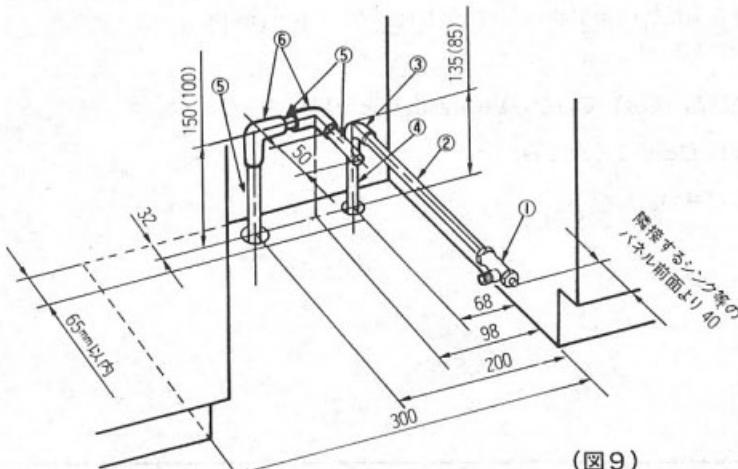


- 本機は配管直結タイプですので設計及び施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください。
- 給水管は樹脂コーティング鋼材を使用してください。
- 配管工事が下図の寸法になっているか確認してください。()内寸法はキッチン高さ800mmの場合。
- 機器本体ホースジョイント(トラップ)内の封水を安定させるため、排水管高さは床面よりかならず150(100)mmとしてください。
- 排水配管は呼び径20以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。
- 排水配管の端面をバリのないよう処理してください。かつ管内に残っている異物(切り粉など)を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障の原因となります。

1. 給水・給湯工事、排水工事例

① 床立上げの配管例

4. 配管工事の確認



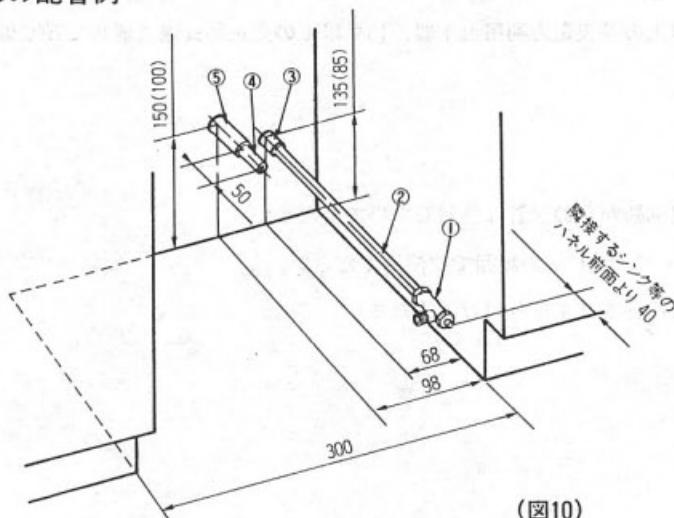
給水(給湯の場合は耐熱配管)

- ①ドライバー用アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング钢管
相当品又はフレキシブルホース
- ③PS $\frac{1}{2}$ エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング钢管相当品
(断熱材巻付けΦ42以内)

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ⑤HT20相当品
- ⑥エルボ

② 壁出しの配管例



給水(給湯の場合は耐熱配管)

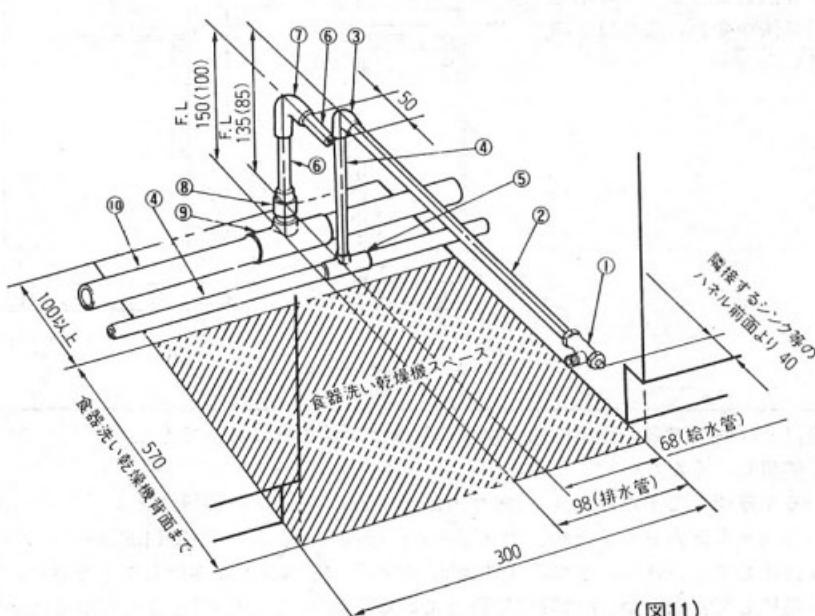
- ①ドライバー用アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング钢管
相当品又はフレキシブルホース
- ③PS $\frac{1}{2}$ ソケット
(断熱材巻付けΦ42以内)

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ④HT20相当品
- ⑤ソケット

(3) 床ころがしの配管例

(注)キッチン奥行L=75又は水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



(図11)

給水(給湯の場合は耐熱配管)

- ①ドライバー用アンダル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング钢管
相当品又はフレキシブルホース
- ③PS $\frac{1}{2}$ エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング钢管相当品
- ⑤チーズ

排水(耐熱塩ビ使用のこと)

- ⑥HT20相当品
- ⑦エルボ
- ⑧径違いソケット(40×20)
- ⑨チーズ
- ⑩VP40

ご注意

- ①、②、③のいずれの配管例においても、ドライバー用アンダル型止水栓を必ず取りつけてください。なお、ドライバー用アンダル型止水栓を取りつける前に管内の異物(切り粉など)は完全に取り除いてください。(止水栓は閉じた状態にしておいてください)
- ①、②は排水本管に至るまでの接続部品(図示していない)も耐熱塩ビを使用してください。
- フレキシブルホースの曲げRはR25以上としてください。
- 配管用接着剤は耐熱用を使用してください。

2. 給湯接続の場合の給湯機の確認

- 給湯接続の場合は石油給湯機、中型以上の深夜電力利用温水器、10号以上の先止め式湯沸器等で70°C以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

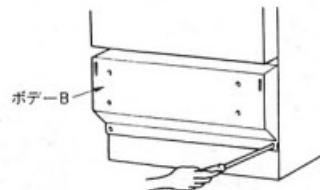
ご注意

- 小型深夜電力利用温水器、元止め式湯沸器からの配管は絶対しないでください。
- この食器洗い乾燥機の水道水圧は0.3~10.0kgf/cm²の範囲でご使用ください。
- 特に高水圧地域では給湯機に所定の減圧弁を必ず取り付けてください。

5-①

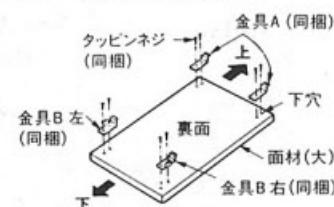
面材(別売)の取り付けとドア開閉力の調整(NP-3000BW)

■ボディーBへの面材の取り付け(後の配管接続のためボディーBは外したままにしておいてください)



- ①ネジ(左右)2ヶ所をはずし、少し上へ持ち上げるようにしてはずしてください。

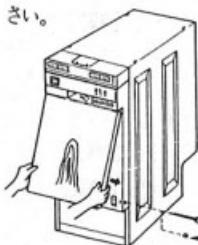
■ドアへの面材の取り付け



- ①金具A、Bを同枠のタッピングネジで面材(大)の下穴に合わせて固定してください。
※金具Bは刻印の矢印が内側になるように取り付けてください。

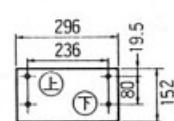
(参考)面材寸法とネジ下穴寸法

- ②ボディーBの裏側からタッピングネジ(同枠)4本で面材(小)を傾かないように取り付けてください。



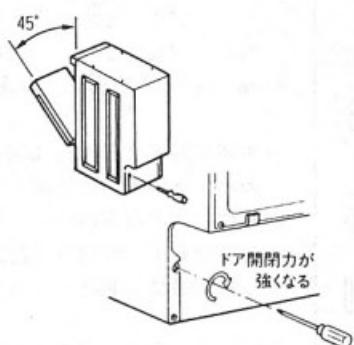
- ③面材の上側を先に、下側を後でドアにはめ込んでください。

- ④ドライバー穴に同枠のキャップをはめ込んでください。



■ドア開閉力の調整

(面材の取り付け後)



製品後面下部の穴(左右2ヶ所)より
④ドライバーを差し込んで面材の重さに応じてドアの開閉力を調整してください。

なお、このときドアを45°に開いた状態でドアがとまる程度に調整し、ドアの開閉時に急激に開いたり、閉じたりしないよう十分に確認してください。

5-②

別売のパネル(化粧板)を取り付ける場合(NP-3000BP)

■ボディーBへのパネル取扱手順

- ①図Aのように左右2ヶ所のネジを取り外し、ボディーBを少し上に持ち上げるようにして取り外してください。

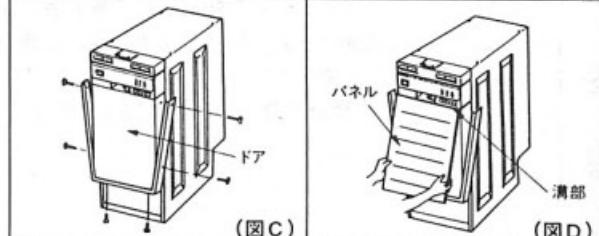
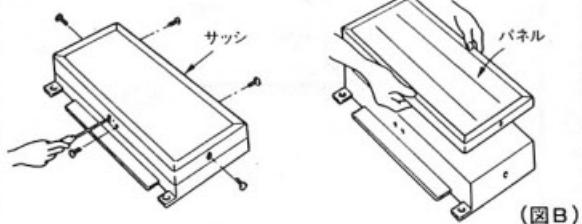
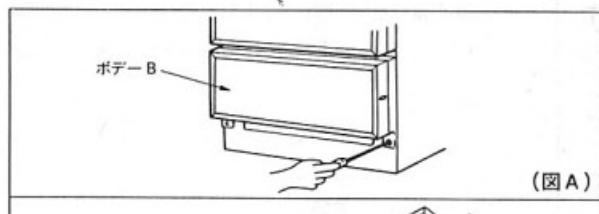
- ②図Bのように6ヶ所のネジをはずしてボディーBについているサッシをはずし、別売パネルをはめてから再度サッシをはめ込み、ネジをしめつけてください。

- ボディーBは後の配管のため外したままにしておいてください。

■ドアへのパネル取扱手順

- ①事前にボディーBを取り外しておいてください。

- ②4ヶ所の左右ネジを取り外して、左右のサッシをフリーにしてください。(図C)



ご注意

- サッシは大きく開かないようにしてください。
(折れ防止のため)

- ③2ヶ所の下部ネジをゆるめて、サッシ全体を前へ若干引き出してください。(図C)

- ④パネルをドア上部の溝部に挿入し、下部のサッシとドアのスキマにはさみこんでください。(図D)

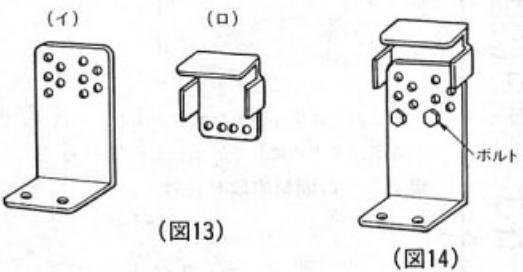
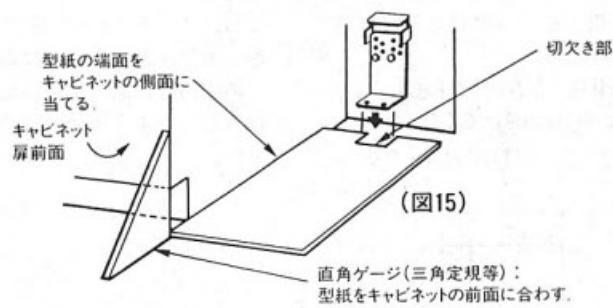
- ⑤左右のサッシとドアの間にパネルをはさみ、左右および下部のネジ6本を締め直してください。

6. 転倒防止金具取りつけと本体の高さ調整

①転倒防止金具は図13に示す(イ)、(ロ)の2つの金具(同梱)を使用し、図14のように組み合わせ、(ロ)の金具を(イ)の金具の最下段の穴に同梱のボルト(2本)で固定してください。本体高さ758mm、808mmの場合の転倒防止に対応できます。

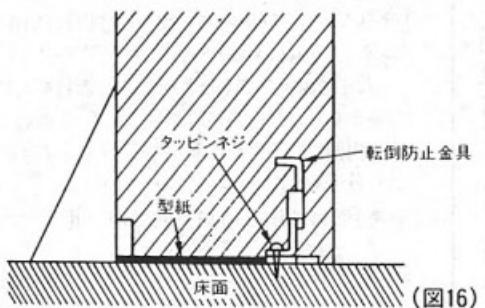
●本体の高さが758mm、808mm以外の場合は転倒防止金具(図14)のボルトの締付け位置を変更してください。図13の金具(イ)の取付け穴の最下段の穴から最上段の穴迄ボルトの締付け位置を変更して本体高さ[763、813]、[768、818]、[773]、[778](単位mm)にも対応できます。

②転倒防止金具を床面に取り付けてください。型紙(梱包材料として使用されている本体上部のダンボール)を図15、図16のように床面に敷き、切欠き部に転倒防止金具を置いて同梱のタッピングネジ(2本)で取り付けてください。



(图13)

(图14)



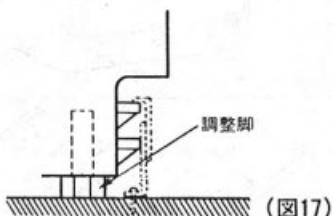
(图16)

③型紙をはずしてください。

④本体の高さ調整を行ってください。

キッチンの高さが800mmの場合

本体下部の調整脚(4本)を図17のようにいっぱい締め込んでください。

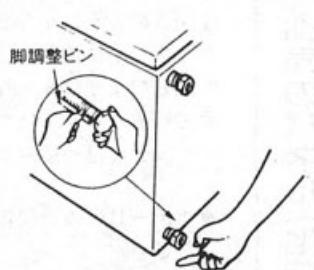
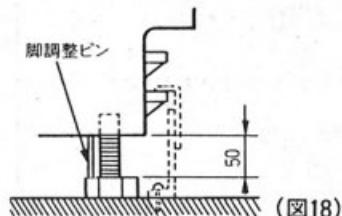


ご注意

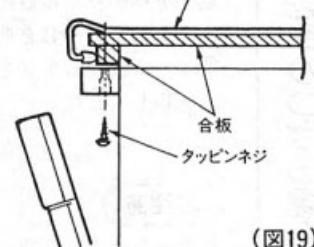
●コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は、図19のように食器洗い乾燥機のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピングネジ2本で固定することもできます。
(但し、人工大理石カウンター等は出来ません。)

キッチンの高さが850mmの場合

同梱の脚調整ピンを使って調整脚の高さを設定してください。



カウンター



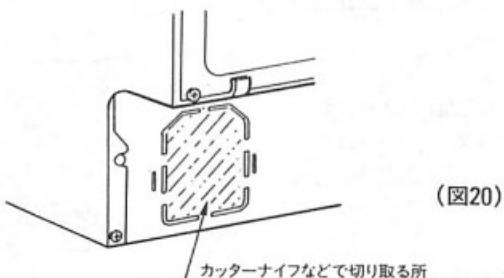
(图19)

4 本体の設置

本体を設置する前に必ず面材を取り付けてドア開閉力の調整をしてください。
本体の設置後にドア開閉力の調整はできません。

1. 本体後面下部に配管用の穴を設けます。

本体後面下部の開口予定部分をカッターナイフなどで切り取ってください。

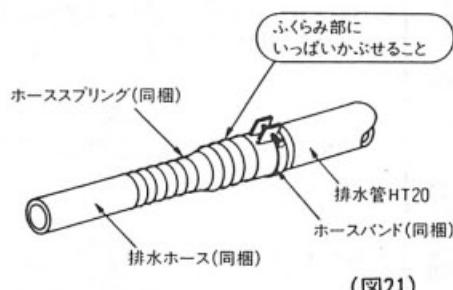


(図20)

2. 排水ホースを配水管に接続します。

①排水ホース(同梱)を排水管HT20に十分に挿入し、ホースバンド(同梱)で締め付けてください。

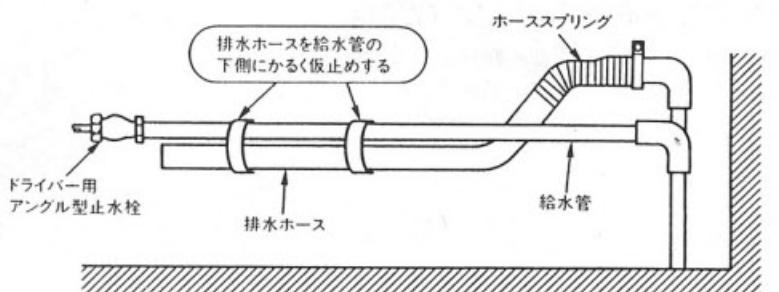
②排水ホースの折れ防止のためホーススプリング(同梱)をホースバンド締め付け部までいっぱいかぶせておいてください。



(図21)

3. 配管の取り止め

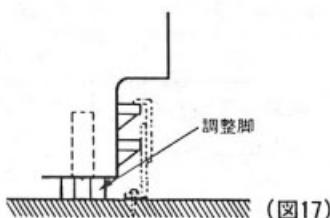
ビルトイン作業時に排水ホースを通しやすいようにするため給水管へ図22のようにビニールテープ等でとめてください。



(図22)

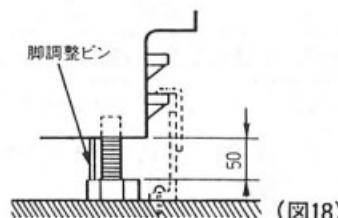
キッチンの高さが800mmの場合

本体下部の調整脚(4本)を図17のようにいっぱい締め込んでください。



キッチンの高さが850mmの場合

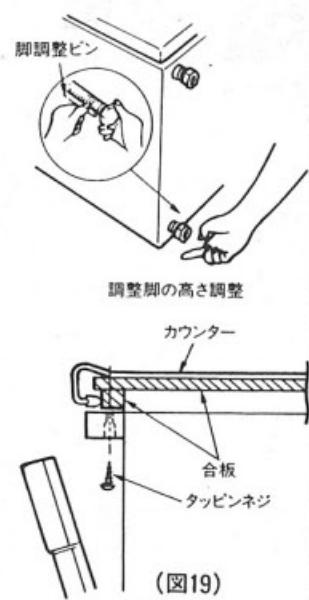
同梱の脚調整ピンを使って調整脚の高さを設定してください。



ご注意

●コンクリート床面など転倒防止金具の取り付けが困難な場合は、図19のように食器洗い乾燥機のドアを開いてカウンター合板部分へ直にタッピングネジ2本で固定することもできます。

(但し、人工大理石カウンター等は出来ません。)



(図19)

2. 給・排水ホースの接続

- ビルトインが完了すると図24のように給水管・排水ホースがダクトより突出します。

①排水ホースは長めになっていますのでホースジョイントに合わせた時、長すぎる様であれば、切り取って調整してください。

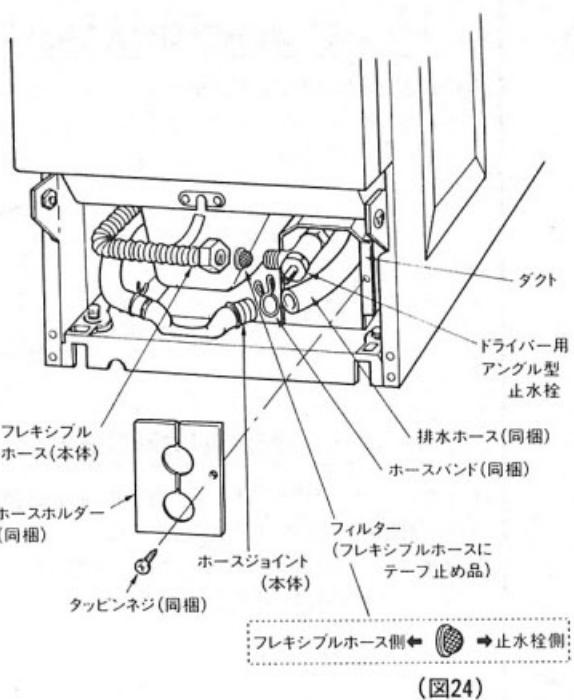
②排水ホースにホースバンド(同梱)をはめ、ホースジョイントに確実に挿入(ストッパーに当たる迄)し、ホースバンドを移動させて固定してください。

③同梱のホースホルダーを給・排水ホースにはめ込み、ダクト前面開口部にタッピングネジ(同梱)で取りつけてください。

④フレキシブルホース(本体)をドライバー用アンダーライナ型止水栓に確実に接続してください。
(フィルターの向きに注意)

ご注意

- ホースジョイントは本体からはずさないでください。
- 配管終了後、排水ホースが折れていないか、無理な力が加わっていないかよく確認してください。

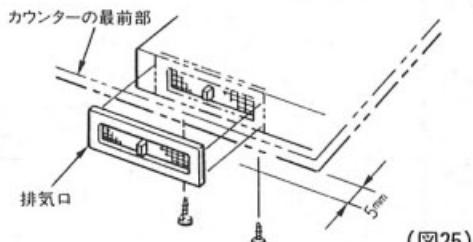


(図24)

3. 排気口の調整

■排気口をカウンター最前部より出してください。

- ドアを開放状態にして排気口下部の締付ネジ(2本)をはずし、排気口の前面がカウンターの最前部より5mm程度出張るようにして締め直してください。(図25)



(図25)

5 設置工事後の点検

●チェックリスト

点 検		点 検 内 容	参照項目	チ ェ ッ ク
機器及び周辺	電源(電圧・周波数)	銘板表示と使用電源が適合していますか	3-1	
	ドアの開閉	他の機器への障害はありませんか、ドアの開閉力を調整しましたか	3-3、5	
	排気口の調整	アンダーカウンターにビルトインする場合、カウンターの最前部より5mm程度出ていますか	4-3	
給水・排水接続	給湯機との接続の場合	指定する給湯機に接続されていますか	3-4	
	フィルター	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルターを挿入しましたか	4-2	
	排水ホース	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか	4-2	
電気接続		電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A以上のアースターミナル付埋込みコンセントに接続しましたか	3-1	
		アース線を接続しましたか	3-2	

6 試運転

■取扱説明書にもとづき、試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます。

- ①止水栓を開きます。
- ②ドアを閉じます。(ハンドルを「閉」の位置までいっぱいに動かしてください。)
- ③「電源スイッチ」を「入」にします。
- ④「コースセレクト」ボタンを押して「予洗い」コースを選んでください。
- ⑤「スタート／一時停止」ボタンを押してください。(「予洗い」コースが開始し、約7分間で終了します。)

- ⑥次の確認を行ってください。

- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら庫内のノズルが回転します。
(噴射音：シャバシャバ音が聞かれるか確認してください。)
- 運転が終了しますとブザーが鳴りますので、終了後「電源スイッチ」を「切」にしてドアを開けてください。(庫内の水が排水されていることを確認してください。また運転中給排水接続部からの水もれがないことを十分確認してください。)

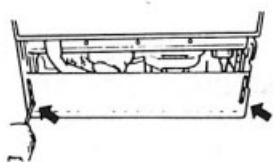
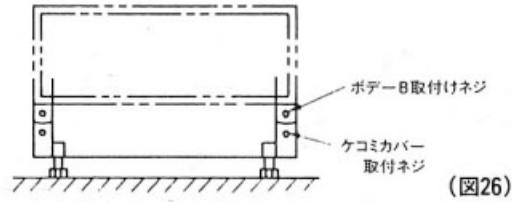
7 ボーデーBの取り付け

■ケコミカバー、ボーデーBを取り付けてください。

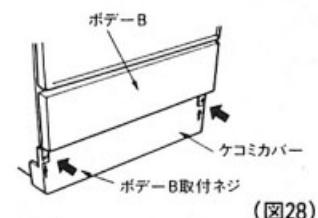
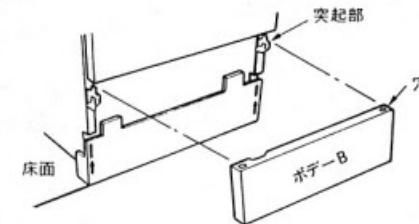
- 図26のケコミカバー取付けネジ2本(左右)をはずしてケコミカバー(同梱)を床面まで下げてしめつけてください。(図27)

ケコミカバー(小:800用
大:850用(860用に調節可能))

- ボーデーBは上部の穴を本体の突起部に嵌め込んでから下部をボーデーB取付けネジ(2本)で締めつけてください。(図28)



(図27)



(図28)

8 お客様へ取扱説明

- ①取扱説明書によって製品の取扱いを説明してください。

- ②保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。